



## 編集後記

Science Journal of Kanagawa University 第31巻をお届けします。今回は原著論文13件、短報1件、教育論文1件が掲載されています。遠隔授業という異常事態の中で、教育・研究が息長く続けられていることに、大いに勇気づけられます。著者の皆様に厚く御礼申し上げます。

感染モデルやワクチンのように、科学の有効性は揺るぎませんが、科学技術文明の拡大で人間と野生動物の接触が増えたことが、グローバル化とともにパンデミックの引き金であると指摘されています。

テレワークが定着するのか等、どのような「コロナ後の社会」を目指すのか、「AIとの共存」などの

問題は、科学と人文・社会科学に渡る視点からの議論が必要です。私自身は数学のごく狭い範囲の素養しか身につけていませんが、学生には是非、幅広い学問分野に目を向けて欲しいものです。副専攻や総合理学プログラムは、そのような認識に基づくものはずです。

今後の理学部に関しては、将来構想委員会を軸に、多大な努力が続けられています。学科の垣根を越えるにとどまらず、文系学部との連携も可能な環境が横浜移転で得られます。これは、総合理学研究所についても言えます。I have a dream. . . .

最後になりましたが、本誌のさらなる発展を祈り、皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

〔 神奈川大学総合理学研究所、  
理学部数理・物理学科 阿部吉弘 〕

神奈川大学理学誌編集委員会  
委員長

川本達也 化学科  
委員

安積良隆 生物科学科

阿部吉弘 数理・物理学科

井上和仁 生物科学科

加部義夫 化学科

川東 健 数理・物理学科

桑原恒夫 情報科学科

張 善俊 情報科学科

堀 久男 化学科

顧問

鈴木季直 神奈川大学名誉教授

Science Journal of Kanagawa University  
Editor-in-Chief

Tatsuya Kawamoto Department of Chemistry

Editors

Yoshitaka Azumi Department of Biological Sciences

Yoshihiro Abe Department of Mathematics and Physics

Kazuhito Inoue Department of Biological Sciences

Yoshio Kabe Department of Chemistry

Ken Kawahigashi Department of Mathematics and Physics

Tsuneo Kuwabara Department of Information Sciences

Shanjun Zhang Department of Information Sciences

Hisao Hori Department of Chemistry

Adviser

Suechika Suzuki Emeritus Professor of Kanagawa University

Science Journal of Kanagawa University Vol. 31  
(*Sci. J. Kanagawa Univ.*)

発行日	2020年10月30日
編集者	Science Journal of Kanagawa University 編集委員会
発行者	神奈川大学総合理学研究所
発行所	〒259-1293 平塚市土屋 2946 Tel. 0463-59-4111 (内 2500) Fax. 0463-58-9684
印刷所	光和アドバンス株式会社